

## 諸外国との比較

各国のデータについては、以下を参照した。

**アメリカ(及びカナダ)**  
アメリカ映画協会  
Motion Picture Association of America (MPAA)  
"Theatrical Market Statistics"  
<http://www.mpa.org/research-and-reports/>  
<http://mpaa.org/research-and-reports/>

**フランス**  
フランス国立映画センター  
Centre National du Cinema et de  
l'Image Animee (CNC)  
"Bilan du CNC"  
<http://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans>

**イギリス**  
英国映画協会  
British Film Institute (BFI)  
"Statistical Yearbook"  
<http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook>

**ドイツ**  
ドイツ映画振興協会  
Filmförderungsanstalt (FFA) "FFA Info"  
<http://www.ffa.de/studien-und-publikationen.html>

**オーストラリア**  
スクリーン・オーストラリア  
Screen Australia "Fact Finders"  
<https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>

**韓国**  
韓国映画振興委員会  
Korean Film Council (KOFIC)  
[한국영화산업 결산] "Korean Film Industry"  
<http://www.koreanfilm.or.kr/eng/publications/books.jsp>

**日本**  
『映画年鑑 2019』  
『統計編 世界主要各国映画諸統計』  
(キネマ旬報社刊)

ここでは、日本と比較して考えやすいアメリカ・カナダ、フランス、ドイツ、イギリス、オーストラリア、韓国の7ヶ国と、日本の映画館での上映状況を比較してみる。

## 観客数

上映環境を考える前提として、これら7ヶ国と日本が異なるのは、日本は人口が減少しているということである。7ヶ国がいずれも、この10年間人口が増加しているのに対して日本の人口は減少が続いているということである。アメリカ・カナダ、フランス、韓国、イギリスは10年間で大体5%増加、オーストラリアは16%増加しているが、日本は年々微減を続け、約1%減少している。

2018年の観客数を多い順に並べると、アメリカ・カナダ、韓国、フランス、イギリス、日本、ドイツ、オーストラリアで、2018年に大きく観客数を増やしたイ

fig.16

### 諸外国との比較

#### [観客数]

(2009-2018)

単位:千人

	アメリカ・カナダ	韓国	フランス	イギリス	ドイツ	オーストラリア	日本
人口(2018)	3億6440万人	5163万人	6501万人	6643万人	8301万人	2518万人	1億2644万人
2009	1,420,000	156,960	201,600	173,500	146,300	90,700	169,297
2010	1,340,000	149,180	207,100	169,200	126,600	92,000	174,358
2011	1,280,000	159,720	217,200	171,600	129,600	85,000	144,726
2012	1,360,000	194,890	203,600	172,500	135,100	85,900	155,159
2013	1,340,000	213,350	193,700	165,500	129,700	82,000	155,888
2014	1,270,000	215,060	209,100	157,500	121,700	78,600	161,116
2015	1,320,000	217,290	205,400	171,900	139,200	90,300	166,630
2016	1,320,000	217,020	213,200	168,300	121,100	91,300	180,189
2017	1,240,000	219,870	209,400	170,600	122,300	85,000	174,483
2018	<b>1,300,000</b>	<b>216,390</b>	<b>201,100</b>	<b>177,000</b>	<b>105,400</b>	<b>89,800</b>	<b>169,210</b>
2009→2018の変化	<b>92%</b>	<b>138%</b>	<b>100%</b>	<b>102%</b>	<b>72%</b>	<b>99%</b>	<b>100%</b>

fig.17

### 諸外国との比較

#### [年間鑑賞本数]

(2009-2018)

	アメリカ・カナダ	韓国	フランス	イギリス	ドイツ	オーストラリア	日本
2009	4.2	3.2	3.2	2.8	1.8	4.3	1.3
2010	3.9	3.0	3.3	2.7	1.5	4.1	1.4
2011	3.7	3.2	3.4	2.7	1.6	3.8	1.1
2012	3.9	3.9	3.2	2.7	1.7	3.8	1.2
2013	3.8	4.2	3.0	2.6	1.6	3.5	1.2
2014	3.6	4.2	3.3	2.4	1.5	3.4	1.3
2015	3.7	4.3	3.2	2.6	1.7	3.8	1.3
2016	3.7	4.2	3.3	2.6	1.5	3.7	1.4
2017	3.4	4.3	3.2	2.6	1.5	3.4	1.4
2018	<b>3.6</b>	<b>4.2</b>	<b>3.1</b>	<b>2.7</b>	<b>1.3</b>	<b>3.6</b>	<b>1.3</b>

•アメリカ映画協会(Motion Picture Association of America, MPAA)は、観客数について、アメリカとカナダをあわせた数値を公表している。

ギリスが日本を上回った。この10年間の観客数の増減をみると、韓国が40%近い増加を示し、他方、ドイツの観客数が前年に比べて大幅に減少して、10年前と比較すると28%の減少となっているが目立っている。この他の、日本を含めた5ヶ国は、(アメリカ・カナダが8%減となっているが)目立った変化は見られない。ネット配信等、映画館以外での映画鑑賞の手段が広がる中でも、映画館で映画を見る観客の数には大きな影響を与えていないことがわかる。観客数を人口で割った国民1人当たりの年間鑑賞本数は、韓国の4.2本が最も多く、続いてアメリカ・カナダとオーストラリアが3.6本と前年を上回り、フランスは3.1本、イギリス2.7本、ドイツと日本は1.3本で並んでいる。これらの数値をみる限り、日本人は他の国民と比較して映画館で映画を見る本数が少なく、まだ観客開拓の余地があると考えられる。また、映画

館のスクリーン数が他国に比してかなり少ないという環境の中で、日本では、映画館以外の公共ホール等で映画を見る観客はかなり多いと思われるが、その数値を把握しきれていないということも念頭に置く必要がある。→ fig. 16, 17

### 映画館数・スクリーン数

7ヶ国はいずれもこの10年間でスクリーン数は増加しており、特に韓国は40%以上の増加を示し、イギリスも19%増加、フランス、オーストラリアも10%以上増加している。日本同様、シネマ・コンプレックスの増加がその背景にあると考えられる。スクリーン数は、アメリカが4万575スクリーンと他国に比べて圧倒的に多く、日本の3581スクリーンの10倍以上となっている。人口をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの人口」は、その数値が低いほどスクリーンが多い、

身近にスクリーンが存在しているとみることができ。この数値をみると、日本は35,211人に1スクリーンと、他の国に比べてスクリーンが非常に少ない。最もスクリーン数が多いアメリカは8063人に1スクリーン、フランスは10,871人に1スクリーンで、日本以外の6ヶ国はいずれも1スクリーン当たりの人口は1万人台におさまっている。日本には、アメリカの4分の1、フランスの3分の1、韓国の2分の1しか映画館がない、極端に映画館が少ない国であるということが出来る。日本人の年間鑑賞本数の低さも、このスクリーンの少なさと無関係ではないだろう。→ fig. 18, 19, 20

### 興行収入

興行収入(2017年)をみると、日本は、アメリカ・カナダ、中国について第3位となる。日本の入場料金は平均1310円と他国に比べるとかなり高く(2019年には1340円となる)、これが興行収入の大

fig. 18  
諸外国との比較  
[スクリーン数]  
(2009-2018)

	アメリカ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	オーストラリア	日本
2009	39,233	5,424	4,734	3,651	2,055	1,989	3,398
2010	39,547	5,478	4,699	3,671	2,003	1,994	3,412
2011	39,580	5,467	4,640	3,767	1,974	1,991	3,339
2012	39,662	5,508	4,617	3,817	2,081	1,997	3,290
2013	40,024	5,588	4,610	3,867	2,184	2,057	3,318
2014	39,956	5,647	4,637	3,909	2,281	2,041	3,364
2015	40,006	5,741	4,692	4,046	2,424	2,080	3,437
2016	40,174	5,842	4,739	4,150	2,575	2,121	3,476
2017	40,393	5,913	4,803	4,264	2,766	2,210	3,530
2018	40,575	5,981	4,849	4,340	2,937	2,278	3,591
増減率 (2009-2018)	104%	110%	102%	119%	143%	115%	106%

fig. 19  
諸外国との比較  
[1スクリーン当たりの人口]  
(2018)

	アメリカ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	オーストラリア	日本
人口(千人)	327,167	65,018	83,019	66,436	51,635	25,180	126,443
スクリーン数	40,575	5,981	4,849	4,340	2,937	2,278	3,591
人口/スクリーン	8,063	10,871	17,121	15,308	17,581	11,054	35,211

fig. 20  
諸外国との比較  
[1スクリーン当たりの観客数]  
(2009-2018)

	アメリカ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	オーストラリア	日本
2009	-	37,168	30,904	47,521	76,380	45,601	49,823
2010	-	37,806	26,942	46,091	74,478	46,138	51,101
2011	-	39,729	27,931	45,553	80,912	42,692	43,344
2012	-	36,964	29,261	45,193	93,652	43,015	47,161
2013	-	34,664	28,134	42,798	97,688	39,864	46,983
2014	-	37,029	26,245	40,292	94,283	38,511	47,894
2015	-	35,778	29,668	42,486	89,641	43,413	48,481
2016	-	36,494	25,554	40,554	84,280	43,046	51,838
2017	-	35,413	25,463	40,009	79,490	38,462	49,429
2018	-	33,623	21,736	40,783	73,677	39,421	47,121

fig. 21

諸外国との比較  
「入場料金・興行収入」  
(2017)

	平均入場料(円)	興行収入(百万円)	観客数(百万人)	スクリーン数	1スクリーン当たり興行収入(万円)
アメリカ・カナダ	999	1,241,912	1,243	43,500	2,855
中国	573	928,512	1,620.0	50,776	1,829
イギリス	1,082	184,554	170.6	4,309	4,283
フランス	836	172,080	205.9	5,913	2,910
インド	87	165,876	1,907.4	9,530	1,741
韓国	708	155,713	219.9	2,766	5,630
ドイツ	1,094	133,838	122.3	4,384	3,053
オーストラリア	1,215	103,248	85.0	2,210	4,672
メキシコ	283	95,709	338.0	6,633	1,443
ブラジル	527	95,530	181.2	3,220	2,967
スウェーデン	1,529	25,834	16.9	823	3,139
日本	1,310	228,572	174.5	3,531	6,473

観客者数及びスクリーン数 『世界主要各国映画諸統計』(「映画年鑑2019」)参照。

興行収入 『世界主要各国映画諸統計』において、興行収入は米ドルで記載されている。

2017年の日本の興行収入(2285億円)から米ドルとの為替レートを計算、そのレートで各国の興行収入(円)を計算している。

平均入場料金 興行収入を観客数で割った数値。

1スクリーン当たり興行収入 興行収入をスクリーン数で割った数値。

fig. 22

諸外国との比較  
「シネマ・コンプレックスの割合  
スクリーン数」  
(2012-2018)

		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
アメリカ	スクリーン数	39,662	40,024	39,956	40,006	40,392	40,393	40,575
	うちシネコン	33,276	33,537	34,468	35,299	34,316	35,950	36,220
	割合	<b>83.9%</b>	<b>83.8%</b>	<b>86.3%</b>	<b>88.2%</b>	<b>85.0%</b>	<b>89.0%</b>	<b>89.3%</b>
フランス	スクリーン数	5,508	5,589	5,647	5,741	5,842	5,913	5,981
	うちシネコン	2,082	2,171	2,219	2,330	2,405	2,505	2,581
	割合	<b>37.8%</b>	<b>38.8%</b>	<b>39.3%</b>	<b>40.6%</b>	<b>41.2%</b>	<b>42.4%</b>	<b>43.2%</b>
イギリス	スクリーン数	3,817	3,867	3,909	4,046	4,150	4,264	4,340
	うちシネコン	2,851	2,915	2,959	3,096	3,209	3,334	3,384
	割合	<b>74.7%</b>	<b>75.4%</b>	<b>75.7%</b>	<b>76.5%</b>	<b>77.3%</b>	<b>78.2%</b>	<b>78.0%</b>
韓国	スクリーン数	2,081	2,184	2,281	2,424	2,575	2,766	2,937
	うちシネコン	1,967	2,072	2,164	2,292	2,428	2,605	2,756
	割合	<b>94.5%</b>	<b>94.9%</b>	<b>94.9%</b>	<b>94.6%</b>	<b>94.3%</b>	<b>94.2%</b>	<b>93.8%</b>
日本	スクリーン数	3,290	3,318	3,364	3,437	3,472	3,530	3,591
	うちシネコン	2,765	2,831	2,911	2,996	3,045	3,109	3,163
	割合	<b>84.0%</b>	<b>85.3%</b>	<b>86.5%</b>	<b>87.2%</b>	<b>87.7%</b>	<b>88.1%</b>	<b>88.1%</b>

fig. 23

諸外国との比較  
「シネマ・コンプレックスの割合  
映画館数」  
(2017, 2018)

	2017			2018		
	シネコン	シネコン以外	合計館数	シネコン	シネコン以外	合計館数
フランス	219	1,827	2,046	226	1,814	2,040
イギリス	348	426	774	353	422	775
韓国	361	91	452	384	99	483
日本	353	230	583	352	235	587

シネコンの定義

アメリカ 5スクリーン以上の劇場(映画館数のデータはない)

フランス 8スクリーン以上の劇場

イギリス シネコン…5スクリーン以上の映画上映専門施設 | シネコン以外…一時的に映画を上映している施設も含む

日本 5スクリーン以上の映画上映専門施設

韓国 CGV、ロッテシネマ、メガボックス、シネQのチェーンによる映画館に加え、7スクリーン以上を持つ映画館

きさの背景にある。その一方で、入場料金の高さが、鑑賞本数が増えない要因になっているのではないとも言われるが、入場料金の平均が1215円と日本とあまり変わらないオーストラリアの鑑賞回数は3.4回と高い数値を示している。

### 1スクリーン当たりの観客数・興行収入

1年間の観客数をスクリーン数で割った1スクリーン当たりの観客数をみると、日本は47,121人で、最も多い韓国の73,677人に次いでいる。同様に、1スクリーン当たりの1年間の興行収入をみると、日本が約6473万円とトップの数値を示す。他の国に比較してスクリーン数が少なく、入場料金が高いことが、1スクリーン当たりの観客数や興行収入の高さの背景にある。

1スクリーン当たりの観客数・興行収入は、いずれの国も、10年前の数値に比べて減少しており、スクリーン数の増加に観客数が追いついていないことがわかる。特に、スクリーン数が20%近く増加したイギリス、15%増加したオーストラリアでは、この10年間で1スクリーン当たりの観客数が6000-6700人も減少している。(2018年の観客数が落ち込んだドイツでは1スクリーン当たり9000人以上減少)。欧米の映画館の1スクリーン当たりの興収は、アメリカ・カナダが2855万円、フランスは2910万円、ドイツは3053万円と日本の半分以下となっており、最も多いイギリスでも4283万円である。→ [fig. 20, 21](#)

### 映画館に対する公的な支援

しかし、日本の映画館の運営が他国に比べて安泰であるわけではない。むしろ、非常に厳しい状況にあることは、シネコン以外の映画館が隣り間

に閉館してしまったことでも明らかである。1スクリーン当たりの興収の平均値が欧米並みになると日本の映画館の運営は成り立たないだろう。

ヨーロッパにおいては、映画館=興行館(日本のように休みなく毎日5-6回上映する映画館)というわけではない。「映画上映活動年鑑2016」で紹介したドイツの映画館の中には、毎週1日は休館で開館日の上映回数は1日2-3回という映画館もあり、1日1回のみ上映、あるいはボランティアのスタッフで運営される、週末の金、土、日しか上映しない映画館も多く存在している。フランスやイギリスでも、1スクリーンとカウントされている映画館のあり方は多様である。

日本以外のいずれの国にも、映画産業、映画文化を統括する組織があり、多様な映画館や上映活動を振興・支援する制度が確立している。国レベル、地方レベル、市町村レベルで上映に対する振興策がこじられているほか、ヨーロッパではEU傘下の文化機関「ヨーロッパ・シネマ」による支援もある。

公的な支援、振興策には、単に金銭的な支援という以上の意味がある。特に、地域文化の一翼を担う場所として認められ、公的な支援を受ける映画館は、地域コミュニティや文化団体との連携を重視したプログラム作りや若年層の観客開拓、映画教育プログラムなど多様な活動を行うことが求められ、そのような活動を行うスタッフも育成されている。映画館や上映者の地域における文化的な存在感、持続可能性も高くなる。

近年、映画館空白地域が広がりつつある日本でも、従来の興行館とは異なる形態で、地域の映画の場所=コミュニティシネマをつくらうとする動

きが各地で起こっている。[p.000参照]映画産業の動向を左右するような動きではないが、地域の映画文化、コミュニティにおける文化活動の活性化という意味では重要な活動である。このような多様な映画館・上映の場所のあり方を可能にする上映振興策の導入を考える必要があるだろう。

### シネマ・コンプレックスの割合

各国とも、2010年以降もシネコンは増え続けている。最もシネコンの割合が高いのは韓国で、全2937スクリーン中2756スクリーン、93.8%をシネコンが占めている。しかし、韓国では、減少の一途を辿っていたシネコン以外のスクリーンが2014年以降は増加に転じ、4年間で64スクリーンも増えている。映画館数も2017年の91館から2018年には99館に増えている。日本でもシネコン以外の映画館は2017-2018年で7スクリーン、5館増加している。

いずれの国もシネコンが映画館の主流となっているが、ヨーロッパの2ヶ国、フランスとイギリスは、その比率が他の3ヶ国に比較するとそれほど高くない。特にフランスは、シネコンの比率は43.2%にとどまっており、映画館数をみると、シネコンが226館であるのに対し、シネコン以外の映画館が1814館と、シネコンをはるかに上回っている。(フランスはシネコンの定義を「8スクリーン以上」としており、他国が「5スクリーン以上」としていることと異なる)また、フランスの映画館数は2040館と、日本の587館の4倍近い映画館が存在しており、中小の市町村においても身近な場所に映画館が存在していると考えられる。→ [fig. 22, 23](#)

## 公開本数

日本と韓国は公開本数が1000本を越えている。特に韓国はこの数年、公開本数が急増、1646本と膨大な数の映画が公開されている。自国映画の公開本数のシェアが50%を越えているのはフランスと日本だけである。日本では、1980年代末から2000年代初めにかけて外国映

画の公開本数が日本映画を大きく上回っていたが、2008年以降は逆に日本映画の公開本数が外国映画を上回ることが続いていた。しかし、この数年、外国映画の公開本数も増加し、2019年は日本映画/外国映画の割合は、公開本数、興行収入とも5.4:4.6と、他国に比べて非常にバランスの取れた状態となっている。→ fig. 24

fig. 24

諸外国との比較 [公開本数]  
(2011-2018)

		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2018	
										自国映画	外国映画
フランス	公開本数	588	614	654	663	652	716	693	684	356   51%	337   49%
	観客数(千人)	217,200	203,600	193,700	209,100	315,031	213,200	209,400	201,100		
	1本あたり入場者数	369,388	331,596	296,177	315,385	315,031	297,626	302,165	294,006		
ドイツ	公開本数	532	5511	563	570	596	610	587	576	228   39%	359   61%
	観客数(千人)	129,600	35,100	129,700	121,700	139,200	121,100	122,300	105,400		
	1本あたり入場者数	243,609	245,191	230,373	213,509	233,557	198,525	208,348	182,986		
イギリス	公開本数	558	647	698	712	759	821	760	787	197   26%	563   74%
	観客数(千人)	171,600	172,500	165,500	157,500	171,900	168,300	170,600	177,000		
	1本あたり入場者数	307,527	266,615	237,106	221,208	226,482	204,994	224,474	224,905		
韓国	公開本数	439	631	905	1,095	1,176	1,520	1,765	1,646	454   28%	1,192   72%
	観客数(千人)	159,720	194,890	213,350	215,060	217,290	217,020	219,870	216,390		
	1本あたり入場者数	363,827	308,859	235,746	196,402	184,770	142,776	124,572	131,464		
オーストラリア	公開本数	342	420	421	505	539	609	694	758	62   9%	632   91%
	観客数(千人)	85,000	85,900	82,000	78,600	90,300	91,300	85,000	89,800		
	1本あたり入場者数	248,538	204,524	194,774	155,644	167,532	149,918	122,478	118,470		
日本	公開本数	799	983	1,117	1,184	1,136	1,149	1,187	1,192	613   51%	579   49%
	観客数(千人)	144,726	155,159	155,888	161,116	166,630	180,189	174,483	169,210		
	1本あたり入場者数	181,134	157,842	139,560	136,078	146,681	156,822	146,995	141,955		